



北海道の畜産業の父

エドウィン・ダン

【指導事例 1】

- 1 主 題 「困難を乗り越えてやり遂げる」〔希望と勇気、克己と強い意志〕
- 2 ねらい

郷土の開拓のために尽力した先人の功績を知り、より高い目標を設定し、その達成を目指して、困難や失敗を自分なりの方法で乗り越えて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、アメリカから来日し、北海道の農業の基礎を築くという使命感をもち尽力した外国人指導者エドウィン・ダンの功績に触れることを通して、より高い目標を設定し、その達成を目指して、困難や失敗を自分なりの方法で乗り越えて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てることをねらいとしています。

前半では、明治時代の北海道の開拓期に、エドウィン・ダンが来日に至った経緯やダンが優れた知識や技術、たゆまぬ情熱によって農業指導を行い、高い信頼を得た頃の様子について触れています。

後半では、日高地方の新冠牧場における農業指導を中心に、ダンが自然災害などの困難を乗り越え、北海道の農業の基礎づくりに尽力する具体的なエピソードが示されています。

指導に当たっては、エドウィン・ダンの北海道の農業の基礎づくりに力を尽くした生き方について、多面的・多角的に話し合い、困難や失敗があっても、自分なりの方法で乗り越えて着実にやり遂げようとするということについて深く考えさせることが重要です。

4 展開例—①「北海道の農業のために尽力するダンの生き方について話し合う活動を通して、困難や失敗を自分なりの方法で乗り越えてやり遂げることの大切さについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の夢や目標について話し合う。 ○ 今、自分が夢に描いていることや目標にしていることはありますか。また、実現するために乗り越えなければならないことはありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動で、レギュラーになりたくて、練習を頑張っているが、思うように上達しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「北海道の畜産業の父」を読み、話し合う。 ○ ダンは、どのような思いで、日本に渡ることを決意したのでしょうか。また、自分がダンになって考えた場合、どのような決断をしますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識や技術を生かして、日本に協力したい。 ・一人でアメリカを離れ、生活していけるか心配だ。 ◎ ダンが、北海道の農業の基礎づくりに力を尽くした生き方の中で、あなたが特に印象に残ったところはどこですか。（それは、なぜですか。） <ul style="list-style-type: none"> ・外国人指導者として特別扱いされることを自ら断っているところ。（自分のためではなく、北海道のために働きたいという気持ちが伝わるから。） ・エゾオオカミの襲来などの困難を乗り越えたところ。（それまでの成果が無駄になりそうになってもあきらめず、取り組んでいるから。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンが、25歳の若さで来日を決意する時の気持ちを話し合い、人間理解を深めさせる。 ・ダンが、使命感をもち、自分なりの方法で困難を乗り越えようとしているよさについて、多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深めさせる。 ・生徒の多様な発言を整理・分類して板書し、登場人物が自分の信念に基づいて行動していることに気付かせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間としての生き方について考える。 ○ 今まで、自分の夢や目標の実現に向けて、どのように取り組んできましたか。また、これから、どのように取り組んでいける人間になれるかと思いませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ・動物が好きで獣医になる夢があるので、専門の勉強ができる学校に進めるように、理科を特に頑張ってきた。 ・中体連で全道大会に出場することを目標にしているので、練習試合で勝てなくてもあきらめないうで、毎日の練習を一生懸命に取り組みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や目標について、自分の人間としての生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。 ■ 困難や失敗があっても、目標に向かって、自分なりの方法でやり遂げることの大切さについて、自分との関わりで、考えを深めている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※教師自身が困難や失敗を乗り越えて達成感を得た経験や、困難や失敗に立ち向かわず後悔した経験などについての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の心に残る努力の思い出を語るにより、夢や目標に向かって自分なりの方法で取り組んでいこうとする実践意欲が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「社会の一員として」〔勤労〕

2 ねらい

郷土の開拓のために尽力した先人の功績を知り、勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会貢献しようとする心情を育む。

3 展開例—②「北海道の農業のために尽力するダンの思いについて話し合う活動を通して、社会の一員として自分の役割や責任を果たすことの大切さについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) ダンは、どのような思いで、日本に渡ることを決意したのだろうか。

- ・自分が学んできた知識や技術を生かしたい。
- ・日本の農業の発展に貢献したい。
- ・自分を頼りにしてくれる人々の思いに応えなければならない。

(2) ダンが、アメリカと環境が違う日本に来て、10年間、困難を乗り越えて、北海道の農業の基礎づくりに取り組むことができたのは、ダンにどのような思いがあったからでしょうか。

- ・自分を必要としてくれる人々の役に立ちたい。
- ・途中であきらめたら、今までの努力が全て無駄になってしまう。
- ・北海道の色々な地域で農業が行われるようになってきて、やりがいがある。

(3) あなたが、ダンの自分の仕事に対する考え方から学んだことは、どのようなことですか。

- ・自分のためだけでなく、周りの人たちや社会のことを考えていること。
- ・自分の知識や技術を周りの人たちや社会に生かそうとしていること。
- ・すぐに成果がでなくても、将来を見通して努力を続けること。

活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 社会科

地理的分野の国内の産業の動向の学習において北海道の農業について取り扱う際や、歴史的分野の富国強兵・殖産興業政策の学習において北海道の開拓について取り扱う際に、本教材を活用することを通して、北海道の開拓の歴史と現在の生活の関連に気付き、より身近な学習内容として捉えることができるようにする。

■ 総合的な学習の時間

職業や自己の将来に関する課題、特に、勤労に関わる探究課題を設定した学習において、学習活動への動機付けを図るため、本教材を活用し、ダンが10年間、自分の知識や技術、情熱によって様々な困難を乗り越えて、北海道の農業の基礎づくりに尽力した思いや願いについて考える活動を通して、自らの能力や適性を生かして自己の将来を切り拓いていこうとする意欲を育てることができるようにする。

■ 特別活動（学級活動）

学級活動の社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成に関する学習において、本教材を活用することを通して、ダンが自分の知識や技術、情熱を生かして北海道の農業の基礎づくりに尽力した思いや願いについて考える活動を通して、勤労や職業と自己実現との関係について理解を深め、自分なりの勤労観・職業観の醸成を図ることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、生徒の夢や目標、その実現に向けた課題や解決の方法について話し合ってもらおうよう依頼し、生徒が自分なりの方法で夢や目標に向けて努力しようとする意欲を高めることができるようにする。

